

交流キャンプで友好を深める日中の児童生徒たち  
＝NPO法人自然体験共学センター提供



# 自然の中で日中交流

## 小浜 小中学生がキャンプ

中国の中学生を招いて、日本の小中学生と自然の中で交流する「日本・中国自然体験交流キャンプ」(NPO法人自然体験共学センター主催)が5日～7日、福井県小浜市の国立若狭湾少年自然の家であった。

交流キャンプは、一昨年に続いて2回目。今回参加したのは、福井県が姉妹都市提携を結ぶ浙江省の杭州第十三中学校の21人と、同センターが募った同県内と関西地方に住む小中学生6人。両国の小中学生は混合で班を組み、野外炊飯や塩づくり、磯辺の観察などに取り組み交流を図った。

児童生徒たちは言葉が通じないこともあって始めは戸惑っていたが、徐々に慣れ、身ぶり手ぶりも交えて互いの言葉で冗談を言い合うほどになり友好を深めていった。

同センターの辻一嘉理事長(40)は「政治的に多くの懸案事項が存在する両国関係の中で、このような草の根の活動は重要。今後も続けていきたい」と話していた。

【松井聡】